

# ME 新潟 第1回活動報告書

○ 日時：平成27年8月1日(土) 7:30～ 9:30

○ 場所：国道7号萬代橋周辺

○活動内容：点検・清掃活動

○参加者	大陽開発(株)	荒木 克
	エヌシーイー(株)	佐藤 陽一
	北陸地方整備局	島津 美砂子
	新潟県村上地域振興局	鈴木 一義
	新発田建設(株)	高橋 孝栄
	(株)加藤組	高山 成希
	見附市建設課	星野 悦宏
	新潟市土木部	本橋 謙治
	(一社)北陸地域づくり協会	若月 和哉
	事務局	大矢 真二
		小林 博実



○ 点検結果の概要

- ・ 吸い殻、空き缶等のごみが多い (回収済)
- ・ 案内標識周辺に雑草が繁茂 (除草済)
- ・ 点字ブロックの剥がれ (補修済)
- ・ 音声誘導の断線 (修理中)



7:30 集合場所より出発



歩道板のがたつきの補修作業



案内石碑周辺の除草作業



萬代橋 橋面・高欄の点検作業



目地草取りと清掃作業



案内板周辺の除草作業①



案内板周辺の除草作業②



点字ブロックの補修作業



歩道破損箇所の損傷測定作業

インフラ再生技術者育成新潟地域協議会のメンテナンスエキスパート(ME)養成講座を修了したME新潟1期生による点検・清掃活動が1日、新潟市中心部で行われた。1期生20人のうち9人が参加し、新潟駅前から万代橋までの間の舗装版のがたつき状況や歩道の石張り、点字ブロックの破損箇所を確認し、道路標識や照明灯などの状況、万代橋の鏡面を点検した。見つかった早期補修が必要な場所は、北陸地方整備局、新潟県、新潟市、新潟県警察本部、東北電力など各管理者に伝える。軽微なものは7日から始まる新潟まつりまでに直すよう要請する。

ME新潟技術者は、国地域協議会が養成している法を学ぶ維持管理講習と土木通省のインフラメンたる任意の資格。ME新潟現場実習を積み、さらにメンテナンスに対応できる登録技術者資格に認定して1期生は昨年9月から10月にかけて橋梁やトンネルの劣化度の調べ方やインフラ再生技術者育成新潟の後の補修、維持管理方法を学ぶ講習と現場実習を積み、維持管理、防災両方の修了試験に合格した者を指す。



歩道にできた亀裂を計測するME新潟技術者

この日の点検・清掃活動は、ME新潟有資格者初の公式活動。有資格者20人は北陸整備局、新潟県、新潟市、村上市、見附市、上越市、加藤組(村上市)、新発田建設(新発田市)、エヌシーイー(新潟市)、大陽開発(上越市)、一般社団法人北陸地域づくり協会などに所属している。

## インフラ再生技術者育成協議会のME新潟1期生

# 9人が道路構造物など点検

**2期生には  
70人が応募**

2期生の募集は7月に実施し、約70人の応募があったという。協議会は応募者から講座参加者を40人に絞り、28日から週1回のペースで10月初旬までに橋梁やトンネル維持管理方法を学ぶ講座を6回開き、修了認定試験合格者は維持管理部門のME新潟技術者に認定する。

さらに合格者を対象に来春、防災関係の講座を開いて、合格者には防災部門のME新潟技術者資格を与える。両方の合格者が正式なME新潟技術者になる。

インフラ再生技術者育成新潟地域協議会幹事会のメンバーには、北陸整備局、新潟県、新潟市、新潟県建設業協会、建設コンサルタンツ協会北陸支部、新潟大学、長岡高専、長岡技術科学大学などが名を連ねている。

**管理者に損傷箇所の早期補修要請**

# 安全な歩行空間を確保

## ME新潟1期生が点検・清掃活動

社会インフラの点検・

維持管理の技術者集団

「ME新潟」(代表・新

潟市役所、新発田建設)

の第1期生が1日、安全

な歩行空間の確保へ新潟

駅前から萬代橋間におい

て道路構造物の点検や清

掃活動を実施した。

この日は、第1期生の

うち、エヌシーイー、加

藤組、新発田建設、太陽

開発、北陸地域づくり協

会、北陸地方整備局新潟

国道事務所、新潟県、新

潟市、見附市から9人が

参加。ME新

潟は老朽化の

進行する社会

インフラの維

持管理を適切

に実施するた

めに、長期間

にわたり施設

を維持管理す

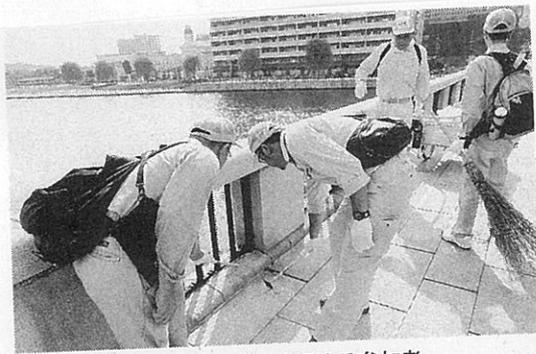
る技術者を育

成する「ME

養成講座」を

修了して必要

な技術水準を



参加者による点検・清掃活動の様子

備えた技術者集団。

活動を前に北陸技術事

務所の犬矢真二総括技術

情報管理官が「やる気満々で参加してもらいたい大変ありがたい。頑張りましょう」と参加者に声をかけてスタートした。参加者はごみを拾いながら点検ハンマーで歩道の石張りや点字ブロックなどの

構造物を確認し、汗を流していた。参加した新発田建設の高橋孝栄氏は「ごみが意外に多かった。萬代橋は重要文化財なので利用者の方も意識を高めてほしい」と話し、ME新潟の

講習については「これまで自分がやってこなかった新たな分野の講習を受けることで知識が身に付いた。これからも継続して受けていきたい」と職場へのフィードバックを

